

【体育】

■児童の状況	〈低学年〉 ・ルールを守って運動したり、友達と関わりながら励まし合ったりしている児童が多い。 ・体力テストの「反復横跳び」「ソフトボール投げ」がやや低い傾向にある。 〈中学年〉 ・どんな運動にも、自分からチャレンジしようとする児童が多い。 ・体力テストの「反復横跳び」「20メートルシャトルラン」が低い傾向にある。 〈高学年〉 ・技の手本や、目標値などを意識しながら、取り組んでいる児童が多い。 ・体力テストの「20メートルシャトルラン」が低い傾向にある。
■指導についての課題	〈低学年〉 ・いろいろな運動を楽しみながら経験できるようにする。 〈中学年〉 ・自己の課題を見付けて、その解決のための方法や活動を工夫する。 ・児童の実態に合わせた授業づくり、場づくりを工夫する。 〈高学年〉 ・運動の楽しさや喜びを実感できる授業作りを行う。
■授業改善に向けての具体的な方策	〈低学年〉 ・様々な鬼遊び、運動遊びに取り組ませて、俊敏さを身に付けたり、いろいろな体の動かし方を経験できるようにしたりする。 ・投の運動の力を伸ばすことができるようなゲームを行い、楽しみながら、投の力を伸ばすことができるようにする。 〈中学年〉 ・基本的な動きや技能を身に付けたり、課題を見付けて解決のための方法などを工夫できるようにしたりするために、運動する時間の確保をする。 ・児童の実態に合わせて、ゲームや用具を設定する。技能を上げるために、楽しみながら運動することを大切に、「ゲーム性」を取り入れながら、運動を何度も行うことができるようにする。 〈高学年〉 ・授業の導入で動きの基となる運動遊びを充分に取り入れ、児童全員が運動への恐怖心や不安を減らせるようにする。 ・手本や目標値を示し、自分でどこまでできているのかを振り返ることにより、課題を見付けたり、達成したりしているかを自分で確認できるようにする。